



留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル)	日本円	備考
授業料	\$20,300	円	アカデミックイヤーで
宿舍費	\$18,675	円	
食費		円	寮費に含まれている
図書費		円	
学用品費	\$400	円	
携帯・インターネット費		円	ソフトバンクのアメリカ放題
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$ 6000	円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	\$1500	円	形態:
渡航旅費		400000 円	
ビザ申請費		5000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$46,875	円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:羽田 目的地:サンフランシスコ 経由地:	
復路 出発地:サンフランシスコ 目的地:羽田 経由地:	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:400000 円ほど	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL)	
<input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:International House) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数2)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の寮のまとめサイト

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

International House はとてもおすすめです。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

どこに行っても携帯がつながる環境であったために、困りませんでした。ですが、寮の Wi-Fi はあまり良くありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行をつくり、親に日本の銀行から移してもらいました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

あまりないです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

大学から送られてきます。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
29単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
African American Studies 27AC LIVES OF STRUGGLE: MINORITIES IN A MAJORITY CULTURE	
科目設置学部・研究科	AFRICAM
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Michael Mark Cohen, Graciela Chong
授業内容	黒人、アジア人、ラティーノなど社会において弱い立場にあったひと人について歴史を通して学ぶ。
試験・課題など	中間試験は対面、本を読んでその内容を他の本と照らし合わせて書くペーパーが2、3枚、期末試験はペーパーの提出
感想を自由記入	パークレーで一番とってよかったと思った授業です。社会で苦しんでいる人々に少しでもやさしくなりたいとおもわせてくれた授業です。ディスカッションセッションは少し辛いこともありますが、取ることをお勧めします。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Virtual Communities and Social Media			
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	Edwin Lin		
授業内容	ソーシャルメディアなどで起こっている現象などを学びます。		
試験・課題など	自分がリサーチする型の課題が3、4枚ありました。		
感想を自由記入	この授業を通して、自分のソーシャルメディアの使い方についてももう一度考えました。今の若者が知っておくべきことがたくさんある、授業であったと思います。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The Sociology of Childhood			
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	Joanna Reed, Ph.D		
授業内容	子供について様々な角度から学びます。		
試験・課題など	中間、期末の試験が Hometest であります。また、フィールドワークが何度かあります。また、学期で合計で四回ほど、授業で考えたこと、思ったことを自分の実体験を通して提出するペーパーがありました。		
感想を自由記入	私は、将来子供のために何かできないかという思いがあり、この授業をとりました。子供はどのように社会の中でそだっていくのか学べました。この授業の教授もとてもいい方なので、おすすめです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Social Inequalities, American Cultures			
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が3回		
担当教授	Joanna Reed, Ph.D		
授業内容	この授業では、社会に蔓延る様々な不平等について学びます。		
試験・課題など	中間、期末の試験が Hometest であります。また、フィールドワークが何度かあります。また、学期で合計で四回ほど、授業で考えたこと、思ったことを自分の実体験を通して提出するペーパーがありました。		
感想を自由記入	私は、この授業をとおして自分は恵まれているということに気付かされました。今まで自分はまわりと比較してみることはあまりなかったので、自分が置かれている立場に感謝しました。また、アメリカではこんな厳しい状況があるのかと学んだのと同時にショックを受けました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Critical Issues in Global Studies Sex, Money, and Power Around the World			
科目設置学部・研究科	Global Studies		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	Prof. Elora Shehabuddin		
授業内容	この授業では、世界中で起きている問題について Sex, Money, and Power を通して学びます。		
試験・課題など	試験は中間が Hometest、他にも毎授業でニュース記事、本、論文などを読み、要約をするという課題がありました。また、グループワーク、課題図書をよみその内容をマイ授業で読んでいるものと合わせてペーパーをかく、また授業外での世界中で起きている問題に関して話し合うイベントに参加し、その内容に関してペーパーを書きました。		
感想を自由記入	この授業は、課題などかなり重くて、つらかったです。ですが、まなべたものは非常に大きかったと考えています。自分が今まで置かれていた日本という国がどれほど恵まれていたのかということに気づいたのと同時に、自分も Global Issues について日々学んでいく必要があるのだと思われました。授業がかなりハードスケジュールではありますが、まなびたいという意思があるひとにおすすめのクラスです！		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

就活はおわりが見えませんが、進んでいなければ、ずっと光の見えないトンネルの中にいるだけだと思います。いろいろ大変ですが、頑張りましょう！私もまだ決まっていないので頑張ります！

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	入学
	4月～7月	GAPをあげたため学業に取り込む
	8月～9月	留学先の検討
	10月～12月	明治出願、英語検定試験の受験
留学開始年	1月～3月	明治推薦結果、Berkeleyへの出願書類の作成、選考
	4月～7月	入学許可、英語の勉強、VISA申請取得、航空券購入、予防接種
	8月～9月	渡米、滞在先の確保、授業、中間試験
	10月～12月	留学、期末試験試験勉強
留学/帰国年	1月～3月	留学、授業が始まる
	4月～7月	留学、試験勉強
	8月～9月	帰国
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私は、中学生の時から大学ではアメリカで留学したいという思いがあり、明治に入学当時からアメリカにある大学のどこかに行きたいという思いがありました。また私は、トップのアメリカ公立大学で学んでみたい、バークレーでしか学べない物事を学びたい、また私は自分が行ける最大値に行きたいと思い、UC Berkeley を希望しました。留学生活に関しては、非常に充実した日々をすごしました。寮では、国際交流をするという目標を持ち、さまざまな国から来た人と交流をしました。非常に充実した、満足感のある留学生活となりました。

### アドバイス

私は、留学をする際には、できるだけ上をみて見るのがいいと思います。自分がいける最大値を目指すと、成長することができると自分の留学生活を通して感じましたし、まわりをみても感じました。色々と辛いことはたくさんありますが、頑張っで欲しいです。諦めないで欲しいです！